



奏でよう 一人ひとりの音色 どこまでも響け!!

校長 鶴田 欽也

10月初旬、夜明け前に自宅近くを散歩していると、ひんやりとした澄んだ空気の中、西の空に美しい満月が見えました。一面に月の光が降り注ぎ、辺りのいろいろなものには影がくっきりとできていました。日の出まで40分ほど、東の空から少しずつ夜が明け始め、月光がつくる影はだんだんと薄くなり、ついには見えなくなりました。月の光と日の光とが入り混じるひと時、夜と朝のはざまをみたように感じました。

行く先々で金木犀の香りがする、過ごしやすい季節になりました。秋本番です。「実りの秋」、「スポーツの秋」、「文化の秋」、「読書の秋」、「勉学の秋」...、いろいろな秋がありますが、校内では恒例の「図書館まつり」(10月19日～11月7日)を開催しています。また、入場を制限させていただいておりますが、11月7日には「学校公開」を開催予定です。

■ 第48回文化祭

9月27日(日)第48回文化祭を開催しました。本校は35年前の昭和60年から体育祭と文化祭を交互に隔年で開催していて、今年も文化祭の年でした。新型コロナウイルスへの対応を行いながらの文化祭——検温、消毒はもちろんのこと、参観や出演の数や時間などの制限、交流や販売の中止、体育館内の座席の配置など、例年とは異なる文化祭となりました。

「奏でよう 一人ひとりの音色 どこまでも響け!!」のテーマのもと、幼小学部では個人発表に加えて、「ブレーメンの音楽隊」と「Yo!Show!!学部 音楽隊」の2つの音楽隊の発表がありました。「ブレーメンの音楽隊」は小学部6名一人ひとりの持ち味を出しながら、それが合わさって協力し、困難に対しても互いを励まし合いながら団結するという、すばらしい姿を表現しました。中学部は「未来へ向かって進め～栄光の架け橋～」として、一人ひとりが中学生らしい自分の夢や、未来に向かう気持ちを力強く表現しました。とても清々しい発表でした。

高等部普通科は、RAMRA「輝かせよう僕らの色～夢に向かって～」と「高等部の作業学習」の2つの発表がありました。RAMRA「輝かせよう…」では、5人全員でアイデアを出しあい、みんなで歌い上げた曲「虹」に合わせて、一人ひとりが夢や将来に対する今の思いを素直に表現できました。理療科は、「基本教練」と「経穴(ツボ)の紹介」の発表を行いました。日頃しっかり学んでいる経穴(ツボ)の性質、効能などをユーモアを交えながらわかりやすく発表しました。

ステージ発表の最後は、高等部普通科・中学部合同演奏でした。「世界に一つだけの花」と「Paradise Has No Border」の2曲を演奏しましたが、日頃はなかなか合奏の練習ができないところ、当日は心一つにすばらしい演奏を披露しました。体育館後方には、日頃の授業で制作した作品の展示コーナーも設け、日々の学びの一端をご覧いただけたかと思います。

今年はいろいろな意味でいつもとは異なる文化祭となりましたが、「奏でよう 一人ひとりの音色 どこまでも響け!!」のテーマを児童生徒一人ひとりが表現し、これまで本校に脈々と受け継がれてきたものを形としてあらわすことができたと思っています。

コロナ禍の中、本来なら参観いただいたはずの多くの方々から、たくさんの応援や励ましのメッセージ等をいただきました。本校は多くの方々としっかりとつながっていること、そして支えていただいていることを改めて強く感じました。心より感謝を申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

PTA第4回研修会 令和2年10月9日(金)、唐津市北波多にある「特定非営利活動法人 地域みらいず」が運営する「universal café ソラシド」と「そらコッペ+」という2ヶ所の就労継続支援B型事業所を訪問しました。この事業所では、様々な障害がある利用者がパン製造と販売をされていました。熱い思いをもった経営者のもと、障害者が安心して利用できる環境が整備されていました。また、本研修会には、唐津市浜玉町にある「一般社団法人 太剛 就労支援事業所 ohana」のチーフマネージャーも参加され、法人の理念や経営方針等について詳しくお話を伺うことができました。事業所での視覚障害者の受け入れ状況や具体的な支援の内容についてお話を伺うことができ、有意義な研修会になりました。

幼小小学部

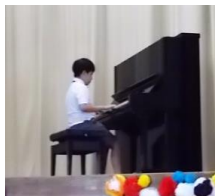
文化祭では、小学部全員で音楽劇「ブレーメンの音楽隊」、音楽発表トーチタイム・ディスクベル、ボディーパーカッションに取り組みました。それぞれ自分の得意なことを取り入れながら、セリフを覚え、歌を歌ったり、合奏をしたりしました。おうちでもセリフの練習をしていただき、立派な発表になりました。また、個人発表で、独唱、太鼓、ピアノ、鍵盤ハーモニカ演奏など披露し、美しい音色を奏でてくれました。



全員での劇



個人発表



中学部

交流学习の一環で、城北中にビデオレターを送り、文化祭への協力をお願いしました。おかげで、文化祭では4人+城北中のみなさんの力も合わせて、素晴らしい発表ができました。



文化祭が終わり、中間考査を乗り越えて、今、中学部の生徒たちは職場体験の学習に取り組んでいます。
①働くことのすばらしさや厳しさ ②職場でのマナーやルール ③働いている人々の様子 ④将来、自分が働くために必要な力・・・これらを知るという目的で、それぞれの場所で体験をさせていただきます。学校では学べないたくさんのことを体験し、また一步成長できると期待しています。



佐賀県立図書館



コープさが新栄店

高等部

【文化祭】

普通科は、歌とモザイクアートのパフォーマンスをしました。青空色に塗った小さな点字紙約240枚を2×3mの大きなキャンバスに貼り、そこにそれぞれが自分の得意な方法で作った、個性豊かなヒマワリを咲かせました。理療科は気合の入った「基本教練」と「ツボの紹介」を発表し、会場を盛り上げました。



【佐賀県特別支援学校就労支援フォーラム】

10月14日(水)アバンセホールにて就労支援フォーラムが行われました。このフォーラムは、障害のある生徒の雇用促進及び理解啓発や特別支援学校と企業との協働体制を強化することを目的に開催されています。本校も学校生活の紹介をステージ上で発表しました。

寄宿舎

新しい生活様式 With コロナ

寄宿舎では、今年度は新型コロナウイルスの影響でこれまでとは違った生活を送っています。対策は万全に、明るく楽しい笑い声は変わることなく、毎日響いています。文化祭では、日々の生活の様子や、コロナ禍での行事の様子をパネルにして展示を行いました。その一部をご覧ください。



見えないことや見えにくいことで困っていませんか？
「目の支援センター ゆうあい」へ相談してみましょう。
相談は無料です。秘密は厳守します。
相談しても、盲学校に転入学する必要はありません。

佐賀県立盲学校
目の支援センター
ゆうあい



TEL 0952 - 23 - 4672